



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月8日
上場取引所 東

上場会社名 KNT-CTホールディングス株式会社
コード番号 9726 URL <https://www.kntcthd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米田 昭正
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 前田 慎一 TEL 03-5325-8522
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	198,206	5.2	6,460	△24.2	6,838	△24.4	5,860	△35.4
2023年3月期第3四半期	188,416	79.5	8,518	—	9,045	—	9,077	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 6,363百万円 (△32.3%) 2023年3月期第3四半期 9,403百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	214.50	—
2023年3月期第3四半期	332.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	128,243	42,288	32.9	14.00
2023年3月期	138,671	35,925	25.9	△198.35

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 42,236百万円 2023年3月期 35,878百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	△0.9	5,000	△56.2	5,500	△54.4	4,500	△61.8	164.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）株式会社コスモポリタン・クリエイティブ・ラボ、
除外 1社 （社名）KINTETSU INTERNATIONAL EXPRESS (CANADA) INC.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	27,331,013株	2023年3月期	27,331,013株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	9,851株	2023年3月期	9,521株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	27,321,316株	2023年3月期3Q	27,321,893株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関連する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種類株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期（予想）				0.00	0.00

B種類株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期（予想）				0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が見られ、景気は緩やかに回復しつつあります。

旅行業界におきましては、ゴールデンウィーク後、新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類感染症となったことにより行動範囲が拡大し、旅行機運が高まり、国内旅行については回復傾向となりました。また、訪日旅行については日本入国時の水際措置の撤廃、円安基調が牽引し、堅調な回復を見せています。しかしながら、海外旅行については、原油価格の高止まり、不安定な国際情勢、円安基調による旅行代金の高騰や旅行先の物価上昇等が影響し、回復に遅れを見せています。

このような情勢の下、4月1日、当社グループは、Web商品の企画・販売を一体的に強化するため、個人旅行のWeb販売専門会社、株式会社近畿日本ツーリストブループラネットを立ち上げました。また、団体旅行部門においては、近畿日本ツーリスト株式会社と株式会社近畿日本ツーリストコーポレートビジネスの団体旅行部門を統合し、それぞれが持つノウハウとネットワークを融合させ、団体旅行事業の強化に努めています。

国内旅行におきましては、個人旅行では、近畿日本ツーリストは秋の行楽シーズンにおいても、夏休みの旅行動向に引き続き、都市圏、テーマパークが人気の上位を占める結果となりました。紅葉の人気エリアである京都では、混みあう時間帯を避けゆったり紅葉をお楽しみいただける「高台寺早朝貸切拝観」ツアーが好評を博しました。クラブツーリズムの添乗員付きツアーでは、瀬戸内のサンセットや紅葉の西日本をめぐる「にっぽん丸」チャータークルーズや歴史の旅、寺旅、美食の旅などのテーマ旅行が好評を博しました。また、団体旅行では、近畿日本ツーリストは企業系コンベンションや博覧会・展示会、報奨旅行の取扱いに注力しました。

海外旅行におきましては、個人旅行では、近畿日本ツーリストは香港ディズニーランド「アナと雪の女王エリア」グランドオープン前先行入場体験付ツアーを販売し、好評を博しました。クラブツーリズムの添乗員付きツアーでは、ビジネスクラスを利用したヨーロッパ方面や、近場で円安の影響が少ない台湾を中心としたアジア方面の販売に注力しました。団体旅行では、スポーツ競技団体の遠征や企業の視察旅行、学生の語学研修旅行の需要獲得を図りました。

訪日旅行におきましては、大型国際会議や報奨旅行等の取扱いが大きく伸びる一方、公務の受託事業におきましては、新型コロナウイルスの感染症対策の緩和に伴い取扱いが大幅に減少しております。

関連事業では、旅行のお支払いにご利用いただける「ツーリスト旅行券」および宿泊ギフト券「ベストセレクション」をデジタル化し、Webでの旅行予約・決済にも簡単にご利用いただけるようになりました。

その他、新規事業の一環として、株式会社地球の歩き方と共同企画した「生徒が編集者！『地域の歩き方』ガイドブック制作授業プログラム」を、教育現場に対し販売を開始しました。また、昨年度から取り組んでいる「学校業務アウトソーシングサービス」では、新たに「会費集金支援サービス」を開始し、業務の負担軽減を提案しています。さらに日本の食材と日本米の魅力を海外へ向け発信し地域創生を目指す「コメイノベーション事業」や、地域共創事業の一環として「アドベンチャートラベル」等にも継続して取り組んでいます。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における連結業績は、連結売上高は1,982億6百万円（前年同期比5.2%増）、連結営業利益は64億60百万円（前年同期比24.2%減）となり、連結経常利益は68億38百万円（前年同期比24.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は58億60百万円（前年同期比35.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ、主に預け金および旅行前払金が増加したものの、現金及び預金および受取手形、営業未収金及び契約資産の減少により、104億28百万円（7.5%）減少し、1,282億43百万円となりました。負債合計は、前連結会計年度末に比べ、主に営業未払金、旅行前受金および賞与引当金が減少したことにより167億90百万円（16.3%）減少し859億54百万円となりました。また、純資産は、主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ63億62百万円増加し、422億88百万円となりました。

この結果、自己資本比率は32.9%（前連結会計年度末 25.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の実績等を踏まえ、2023年6月1日に公表しました予想値を修正しております。

詳細につきましては、本日(2024年2月8日)公表の「通期業績予想の修正および配当予想の修正(無配)に関するお知らせ」をご参照ください。

また、2023年4月に発覚した当社の連結子会社である近畿日本ツーリスト株式会社による自治体等への過大請求事案の影響については、売上の減少等を一定の前提に基づき予想数値に織り込んでおりますが、今後の動向により、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。なお、2023年9月20日に公表した「再発防止策の策定および進捗状況に関するお知らせ(開示事項の経過)」の取組みについては、本日(2024年2月8日)公表の「再発防止策の進捗状況に関するお知らせ(開示事項の経過)」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,651	10,469
預け金	53,604	69,075
受取手形、営業未収金及び契約資産	43,025	21,454
商品	4	8
旅行前払金	8,422	11,738
その他	4,318	3,126
貸倒引当金	△172	△73
流動資産合計	126,854	115,800
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	344	510
土地	104	104
その他（純額）	434	515
有形固定資産合計	882	1,130
無形固定資産		
その他	809	1,011
無形固定資産合計	809	1,011
投資その他の資産		
投資有価証券	4,013	4,743
退職給付に係る資産	1,737	1,798
繰延税金資産	974	749
その他	3,841	3,450
貸倒引当金	△442	△439
投資その他の資産合計	10,124	10,301
固定資産合計	11,816	12,442
資産合計	138,671	128,243

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	23,658	17,417
未払金	3,241	2,037
未払法人税等	264	126
預り金	11,244	14,183
旅行券等	17,916	16,447
旅行前受金	35,447	29,360
賞与引当金	2,830	810
特別調査費用等引当金	900	—
その他	4,495	2,627
流動負債合計	99,998	83,011
固定負債		
繰延税金負債	766	989
退職給付に係る負債	—	61
その他	1,980	1,892
固定負債合計	2,746	2,943
負債合計	102,745	85,954
純資産の部		
株主資本		
資本金	100	100
資本剰余金	55,123	55,123
利益剰余金	△20,910	△15,049
自己株式	△15	△15
株主資本合計	34,297	40,157
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,043	1,515
為替換算調整勘定	502	614
退職給付に係る調整累計額	33	△51
その他の包括利益累計額合計	1,580	2,078
非支配株主持分	47	52
純資産合計	35,925	42,288
負債純資産合計	138,671	128,243

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	188,416	198,206
売上原価	149,201	159,073
売上総利益	39,215	39,132
販売費及び一般管理費	30,696	32,672
営業利益	8,518	6,460
営業外収益		
受取利息	134	181
受取配当金	61	75
為替差益	72	—
営業債務整理益	—	92
助成金収入	268	51
その他	46	75
営業外収益合計	584	476
営業外費用		
支払利息	51	40
為替差損	—	53
その他	5	3
営業外費用合計	57	97
経常利益	9,045	6,838
特別利益		
関係会社清算益	19	9
固定資産売却益	310	—
特別利益合計	329	9
特別損失		
特別調査費用等	—	557
損害賠償金等	—	65
人事制度変更による一時費用	—	51
固定資産除却損	0	2
事業構造改革関連費用	45	—
減損損失	0	—
特別損失合計	47	677
税金等調整前四半期純利益	9,327	6,171
法人税、住民税及び事業税	407	73
法人税等調整額	△152	233
法人税等合計	254	306
四半期純利益	9,073	5,864
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,077	5,860

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	9,073	5,864
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	124	471
為替換算調整勘定	146	112
退職給付に係る調整額	59	△85
持分法適用会社に対する持分相当額	0	—
その他の包括利益合計	330	498
四半期包括利益	9,403	6,363
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,407	6,358
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは「旅行業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。